

オーラ分析レポート

チャクラ・エネルギー測定データに基づく個人レポート

CLIENT fumiaki yoshikawa 様

測定日 2026年8月22日

調整期間 2026年8月22日 ~ 2026年9月19日

このたびはオーラ分析をお受けいただき、ありがとうございます。

本レポートでは、7つのチャクラのエネルギー状態から見てきた、現在のあなたの姿と、これから大切にしていきたいテーマをまとめました。

まずは次のページから、レポートの読み方をご案内します。

レポートの読み方

測定結果をご覧ください前に、3点だけお伝えさせてください。

POINT 1

まずは、気になるところから受け取ってみてください

本レポートは、タイムウェーバーによるエネルギー測定を一つの視点として言葉にしたものです。書かれているすべてを一度に受け止めようとせず、まずは読んでいて心に響く部分から、ご自身のペースで受け取ってみてください。

POINT 2

診断ではなく、気づきのための鏡です

医学的な診断や心理的な評価を行うものではありません。「現在の状態」は、あなたに固定された判断ではなく、今この時点で現れやすい傾向として書かれたものです。意識を向けることで変わっていく一つの視点として、気軽に読み進めてください。

POINT 3

「望む状態」にフォーカスすることをおすすめします

「現在の状態」だけに意識を向けると、気になる点ばかりが目についてしまうことがあります。各テーマに添えた「望む状態」の言葉を、これから育てていきたい方向性として、日々の中で思い出していただくと効果的です。

それでは、次のページから測定結果をご覧くださいながら、ご自身の状態を確認していきましょう。

チャクラの全体図

チャクラとは、「エネルギーが出入りしている場所」のことです。

東洋医学でいう気の通り道にあたり、その数は数百～数万も存在すると言われます。

タイムウェーバーのオーラフォトグラフィーでは、そのうち中心的な7つの主要チャクラを扱います。



本レポートでは、各チャクラを次のように表記します

7 第7チャクラ … クラウンチャクラ

6 第6チャクラ … 眉間のチャクラ

5 第5チャクラ … 首のチャクラ

4 第4チャクラ … ハートのチャクラ

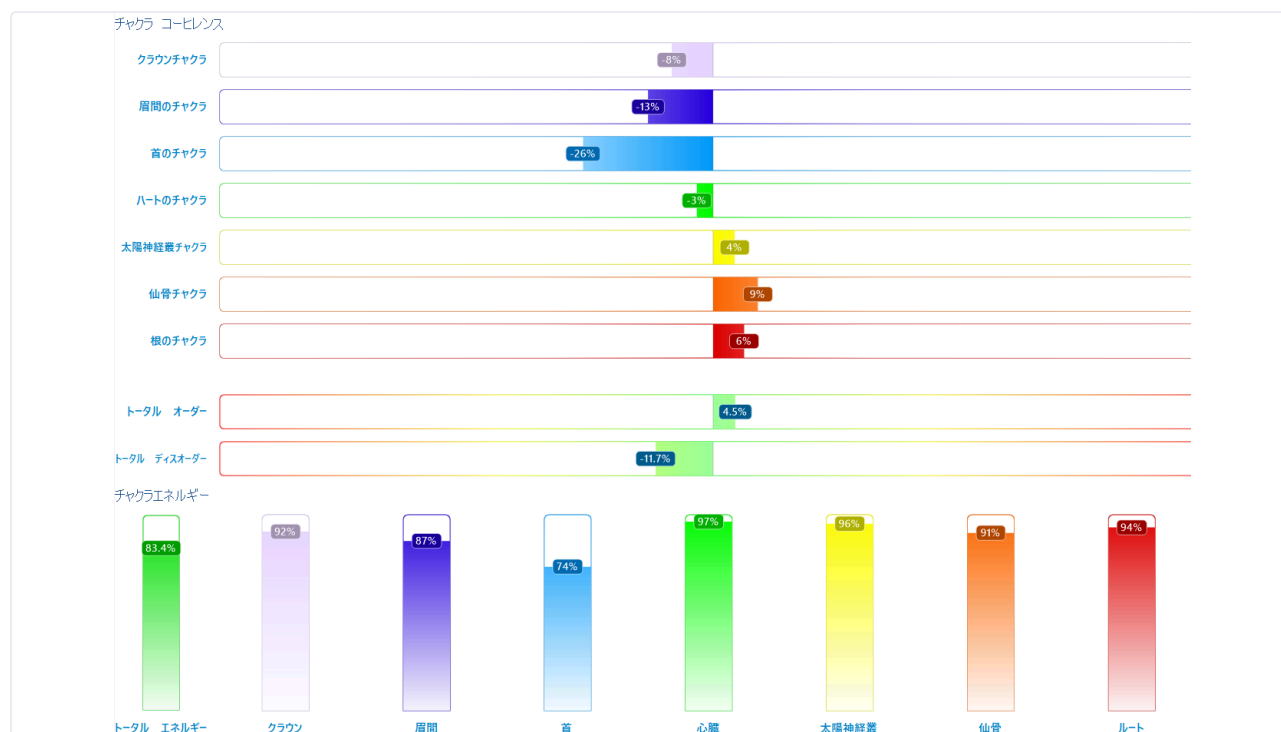
3 第3チャクラ … 太陽神経叢チャクラ

2 第2チャクラ … 仙骨のチャクラ

1 第1チャクラ … 根のチャクラ

測定結果

7つのチャクラの不調和度（コーヒレンス）とエネルギー（保有量）の測定結果です。



図：チャクラ・不調和度（コーヒレンス）／チャクラエネルギー（保有量）測定結果

不調和度とエネルギーの見方

「不調和度」は、0%に近いほど、そのチャクラが理想的な状態に近く、調和が取れていることを示します。プラス・マイナスいずれの方向であっても、数値が大きくなるほど、そのチャクラでの揺らぎや不調和が大きいことを表します。

「エネルギー」は、そのチャクラがどれくらい活発に機能しているかを示す、保有量の目安です。数値が高ければ良い、低ければ悪いという単純なものではなく、他のチャクラとのバランスの中で読み解いていただく指標です。

オーラ写真

測定時に撮影された、エネルギーフィールドの色合いを可視化したオーラフォトです。

各色の広がりや、前ページのチャクラ測定データと合わせてご覧いただくと、より立体的にご自身の状態を捉えていただけます。



図：オーラフォト（2026年8月22日撮影）

概要

1 あなたの土台となるエネルギーは、とても豊かです

7つのチャクラすべてが74～97%という高いエネルギー値を示しており、全体としても83.4%という高水準です。あなたの中には、動かせる生命力・気力がしっかりと備わっています。以降の内容は「足りないものを補う」というより、「すでに持っている豊かなエネルギーを、より流れやすくしていく」という視点でお読みください。

2 エネルギーの向きに、ひとつの傾向があります

根・仙骨・太陽神経叢という「土台・感情・意志」に関わる下側のチャクラは、しっかりと安定・自覚しやすい方向に整っています。一方で、眉間・クラウン・首という「直感・精神性・自己表現」に関わる上側のチャクラは、まだ意識の奥にとどまっている部分が多いようです。ハートチャクラはちょうどその中間で、上と下をつなぐ橋渡しの役割を担っています。足元や感情はしっかりと支えられている一方、内側にあるものを外に向けて表現することに、少しブレーキがかかりやすい状態です。

3 今いちばん向き合うとよいのは「首のチャクラ」＝自己表現です

7つの中でも、最も意識を向けていただきたいのが首のチャクラです。自分の考えや気持ちを言葉にして外へ出していくことに、無意識のうちにブレーキがかかっている様子がうかがえます。ここに手を入れていくことが、全体のバランスを整えるうえで、いちばん効果を感じやすい入り口になりそうです。

4 くり返し現れているテーマ：お父さま・権威との関係

クラウンチャクラを中心に、お父さまや大きな存在（神・権威）との関係にまつわるテーマが、複数の深さで見られます。精神的な導き手と、より大きな存在そのものとの違いを、今まさに整理しようとしている前向きなテーマがある一方で、家系のレベルにまで及ぶ、心の奥にしまわれてきたテーマも存在しています。お父さまや権威との関係性は、人生を通じて向き合ってきた、大きな一本の筋道のようなのです。

5 ハートチャクラは「受け入れる力」を育てている最中です

ハートチャクラはエネルギー量がもっとも高く、バランスもほぼ中立という、あなたにとって非常に力強い場所です。ここでの中心テーマは一貫して「ありのままを受け入れる」こと。自分自身や周りの人を、条件をつけずに受け入れていく力を、今まさに育てている段階にあります。

テーマには、3つの分野があります

今回の分析でご紹介するテーマは、内容によって3つの分野に分けられます。ご自身の内側にある課題としての「人生のテーマ」、父母・祖父母・ご先祖さま、あるいはカルマといった、血のつながりを通じて受け継がれてきた課題である「家系のテーマ」、そしてそれ以外でそのチャクラに関わる内容をあらわす「関連するテーマ」です。

色付きの枠は、「人生のテーマ」を、深いボルドー色の枠は、「家系のテーマ」を、グレーの枠は、「関連するテーマ」を示しています。家系のテーマは、父母・祖父母・ご先祖さま・カルマのどの層に由来するかも、あわせてタグで示しています。いずれも「現在の状態」と「望む状態」をセットでお示ししていますので、今のご自身の状態を確認しながら、これから育てていきたい方向性としてお役立てください。

第7 クラウンチャクラ

目的

頭頂に位置し、高次の意識やスピリチュアルな源とのつながりを司る場所です。

不調和度 **-8%**

クラウンチャクラでは今、「精神的な導き手（師）」と「より大きな存在そのもの（神・最高の創造主）」との違いを、ご自身の中で明確にしていこうとするプロセスが進行中です。これはとても意識の表面に近いところで起きている、前向きな整理の途中と言えます。

あわせて、お父さまとの関係にまつわるテーマが、人生のテーマ・家系のテーマという異なる深さで見られます。もっとも根が深いのは、父を情緒的に自分を追い詰める存在として感じてきたという、家系のレベルにまで及ぶ記憶です。そのほか「愛情を得るために魅力的でいなければならなかった」という人生のテーマもあり、大切な存在への信頼のかたちを、あらためて見つめ直す機会がありそうです。

人生のテーマ

現在の状態

愛情を得るために、自分が魅力的でなければならなかった。



望む状態

父から、無条件に愛されていると感じている。

家系のテーマ（祖先）

現在の状態

父を、情緒的に自分を追い詰める存在として感じてきた。



望む状態

父を、情緒的に支えてくれる、愛情深い存在として感じている。

関連するテーマ

現在の状態

霊的なレベルと、神のレベルとの混同がある。霊的な導き手を、神そのものと混同している。



望む状態

霊的なレベルと神のレベルの違いを理解しており、自分の霊的な導き手と神を、はっきりと区別できている。

第6 眉間のチャクラ

直感力

眉間に位置し、直感や洞察力、物事を見通す力を司る場所です。

不調和度 **-13%**

このチャクラの中心にあるのは、「自分を魂ではなく、身体そのものだと思い込んでしまう」というテーマです。これは日常的な自己認識のかなり根本的な部分に関わっており、比較的意識に上りやすい層と、意識の奥深くにある層の、両方に同じような形で繰り返し現れています。あなたの中にしっかりと根づいているテーマのひとつと言えるでしょう。

その中でも「精神的な自覚の不足から、セクシュアリティと自分自身を同一視し、こころの世界を狭めてしまっている」というテーマは、人生のテーマと呼べる深さにあります。日常的なレベルでも、自分を身体だけの存在としてとらえてしまう感覚が繰り返し現れており、精神的な自覚を深めていくことが、このチャクラにとっての伸びしろのようです。

人生のテーマ

現在の状態

精神的な自覚の不足から、セクシュアリティと自分自身を同一視し、こころの世界を狭めてしまっている。



望む状態

自分が肉体に宿る無限の魂であると自覚し、内面のすべてを生きている。

関連するテーマ

現在の状態

個の意識が十分に育っておらず、自分を身体だけの存在に還元してしまっている。



望む状態

個の意識を通じて、自分が身体に宿る無限の魂であると知っている。

関連するテーマ

現在の状態

自分を、物質的な身体そのものと同一視することを学んできた。



望む状態

自分が、身体に宿る無限の魂であると知っている。

第5 首のチャクラ

表現力

喉に位置し、自己表現やコミュニケーション、自分の想いを声にする力を司る場所です。

不調和度 **-26%**

今回のレポートの中で、いちばん意識を向けていただきたい場所です。「批判を攻撃と受け止めて拒絶してしまい、建設的に活かすことができずにいる」というテーマや、「スピリチュアリティ・宗教性を通してしか、自分を表現できずにいる」というテーマは、人生のテーマと呼べる深さで根づいています。

さらに、「親であることを通して、自分の本質を表現している」ことについては、父母の代から受け継がれてきた、家系のテーマと呼べる深さにあります。ご自身の中に「表現したい」という強い思いはしっかりとあることが分かりますので、その思いを、より自由で幅広いコミュニケーションへと開いていくことが、このチャクラにとっての一番の伸びしろです。

人生のテーマ

現在の状態

批判を攻撃と受け止めて拒絶してしまい、建設的に活かすことができずにいる。



望む状態

批判を受け入れ、自己内省のために建設的に活用している。

人生のテーマ

現在の状態

スピリチュアリティ・宗教性を通してしか、自分を表現できずにいる。



望む状態

スピリチュアリティを超えた、存在のあらゆる側面を生き、表現している。

家系のテーマ（父母）

現在の状態

親であることを通して、自分の本質を表現している。



望む状態

外的な状況によらず、自分の内面をそのまま真正に表現している。

第4 ハートのチャクラ

愛

胸の中心に位置し、愛や慈しみ、人とのつながりを司る場所です。

不調和度 **-3%**

ハートチャクラは不調和度がわずか-3%と、7つの中でもっとも調和が取れた場所です。ここでの中心テーマは一貫して「ありのままを受け入れる」こと。「自分自身や他者を、受け入れることができていない」というテーマと、「無条件の喜びを、以前よりも感じるようになってきている」という前向きな変化は、いずれも人生のテーマと呼べる深さにあります。

また、「人間関係を、自分でコントロールしようとしてしまう」ことについては、家系のテーマと呼べる深さで受け継がれてきたパターンようです。無条件に与える・受け入れることを、これからも大切に育てていきたいところです。

人生のテーマ

現在の状態

自分自身や他者を、受け入れることができていない。



望む状態

ありのままの自分と他者を、受け入れている。

人生のテーマ

現在の状態

無条件の喜びを、以前よりも感じるようになってきている。



望む状態

無条件の喜びを、感じ続けている。

家系のテーマ（祖父母）

現在の状態

人間関係を、自分でコントロールしようとしてしまう。



望む状態

信頼できる関係性の中で生きている。

第3 太陽神経叢チャクラ

自信

みぞおちに位置し、自信や意志の力、行動する力を司る場所です。

不調和度 +4%

意志や自分らしさに関わるこのチャクラでは、「外の世界や社会を脅威のように感じ、内側に引きこもってしまっている」というテーマが、家系のテーマと呼べる深さで受け継がれているようです。自らつくった心の壁によって、なりたい自分での自由が届かなくなっている状態です。

そのほか「恐れのために、自分は自由ではないと感じている」「感情的な揺さぶりによって、無力さを感じている」といった日常的なテーマもあり、いずれも「本来の力を発揮する」よりも「周囲に合わせて自分を小さくする」方向のクセが色濃く出ています。

家系のテーマ（父母）

現在の状態

外の世界や社会を脅威のように感じ、内側に引きこもってしまっている。自らつくった心の壁によって、なりたい自分での自由が届かなくなっている。

望む状態

周囲と調和し、人生を信頼しながら、内なる自分に従って発展している。

関連するテーマ

現在の状態

恐れのために、自分は自由ではないと感じている。

望む状態

自由を感じ、勇気を持って人生を前に進めている。

関連するテーマ

現在の状態

感情的な揺さぶりによって、無力さを感じている。

望む状態

他者の影響から自由であり、自分の内なる力を感じている。

第2 仙骨のチャクラ

自立心

下腹部に位置し、感情や創造性、人間関係における親密さを司る場所です。

不調和度 +9%

感情や親密さに関わるこのチャクラでは、「感情を、自分でコントロールしている」というテーマが、家系のテーマと呼べる深さにまで及んでいます。祖先の代から受け継がれてきた、感情をしっかりと締めておくという生き方のパターンのようです。

そのほか「感情を、距離を置いた位置から眺めており、感じられなくなっている」「自分の気持ちを、コントロールしている」といった、感情を管理しようとする日常的なテーマも見られます。いずれも、感情をしっかりと締めておくという、家系から受け継がれてきたパターンと重なる部分がありそうです。

家系のテーマ（祖先）

現在の状態

感情を、自分でコントロールしている。

望む状態

感情を、自由に流れさせている。

関連するテーマ

現在の状態

感情を、距離を置いた位置から眺めており、感じられなくなっている。

望む状態

自分の内なる感情の世界と、十分につながっている。

関連するテーマ

現在の状態

自分の気持ちを、コントロールしている。

望む状態

気持ちを、自由に流れさせている。

第1 根のチャクラ

生命力

尾てい骨や会陰のあたりに位置し、生きることへの安心感や、心と体の土台となる力を司る場所です。

不調和度 +6%

生きる土台や安心感、お母さまとの関係に関わるこのチャクラでは、「キャリアにおいて相反する二つの側面を統合しようとしており、人生が決断を後押ししている」というテーマが、カルマと呼べるもっとも深い層にまで及んでいます。人生の岐路に立つたびに繰り返し現れてきた、根源的なテーマのようです。

また「お金を通じた、情緒的な揺さぶりを経験してきた」とことと、「母による情緒的な揺さぶりに、すでに気づいている」ことは、人生のテーマと呼べる深さにあります。特に後者は、その力学にすでに気づき、自由・自立へと向かっている前向きな進展として読み取れます。

人生のテーマ

現在の状態

お金を通じた、情緒的な揺さぶりを経験してきた。



望む状態

人生に支えられ、必要なものを常に得られると知っている。

人生のテーマ

現在の状態

母による情緒的な揺さぶりに、すでに気づいている。



望む状態

感情的に自由で、自立している。

家系のテーマ（カルマ）

現在の状態

キャリアにおいて相反する二つの側面を統合しようとしており、人生が決断を後押ししている。



望む状態

自分に合った道を選び、キャリアの決断をしている。

まとめ

今回の分析からは、あなたが生命エネルギー自体はとても豊かに持ちながら、①下のチャクラで少し力を入れすぎて自分を抑えてしまう傾向、②首のチャクラを中心とした自己表現へのブレーキ、③お父さまや権威との関係というテーマが意識の表面と奥底の両方に存在していること、④ハートチャクラが担っている「受け入れる力」という橋渡しの役割、という4つの軸が見えてきました。

まずは首のチャクラ、つまり「自分の考えや気持ちを、安心して外に出していくこと」から意識を向けていただくと、他の部分にも良い変化が広がりやすいかと思います。

調整期間（2026年8月22日～2026年9月19日）を通じて、これらのテーマが統合されていきます。さらに深く知りたいテーマがございましたら、セッションを通じてより深く掘り下げていくこともできますので、どうぞご活用ください。



免責事項

本レポートは、TimeWaverによるエネルギー測定データをもとに、チャクラの状態を一つの視点として言語化したものです。

医学的な診断・治療、心理療法、その他専門的な助言に代わるものではありません。心身の不調や気になる症状がある場合は、自己判断せず、医師や専門機関にご相談ください。

本レポートでお伝えする「現在の状態」「望む状態」は、測定データに基づく一つの解釈であり、絶対的な評価や将来を保証するものではありません。内容の受け取り方、活用の仕方はご自身のご判断に委ねられます。

測定データおよびレポートの内容は、個人情報として適切に管理し、ご本人の同意なく第三者に開示することはありません。

本レポートの内容により生じたいかなる結果についても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本レポートの内容についての個別のご質問対応は、原則として行っておりません。